

Fics-RT1

(株) 椿本チェーン仕様

【キー、LED 配置及びキーコード】

キー、LED 配置及びキーコードは概ねは *Fics-RT1* 標準とするが、キーコード出力処理に特殊仕様が追加される。(詳細後述)

	WORLD	TOOL	JOINT
ENTER (29)	MODE (2A)	H L P (2B)	S L P (2C)
	STEP HOLD ○	○	○ ERROR2
		ERROR1	

A F1 (AUX) (01)	B F2 (COPY) (09)	C F3 (CLR) (11)	D F4 (CHCK) (19)	E MCR (21)
F F5 (RLF) (02)	G F6 (STEP) (0A)	H F7 (PTCH) (12)	I F8 (KTCH) (1A)	J (22)
K + (03)	L ↑ (0B)	M ⇨ (13)	N X・R (1B)	O Y・T (23)
P - (04)	Q ↓ (0C)	R ⇩ (14)	S Z (1C)	T A (24)
U 7 (05)	V 8 (0D)	W 9 (15)	TAB STEP (1D)	No WRITE (25)
X 4 (06)	Y 5 (0E)	Z 6 (16)	INS LINE (1E)	DEL RUN (26)
: 1 (07)	(2 (0F)	) 3 (17)	/ BS (1F)	S_MOV S_HLD (27)
# 0 (08)	< = (10)	> . (18)	* , (20)	SHIFT

SHIFT キー単独での出力はなし

【LCD表示】

LCD表示は *Fics-RT1* 標準とする

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1																				
2																				
3																				
4																				

【RS232Cの設定】

通信モード : 全二重
 データ長 : 8ビット
 パリティ : なし
 ストップビット : 1ビット
 転送速度 : 9600bps

【パラメータ設定】

《ACK, NAK通信プロトコルの設定》

オフ・ラインによる各種パラメータの設定でACK、NAK通信プロトコルモードの設定を行います。
 <F1>キーの選択により下記に示される設定画面の(1)～(6)に切り換えられます。

(1) BAUD RATE = 9600 ボーレート : 300/600/1200/2400/4800/9600/19200
 (2) DATA BITS = 8 データ長 : 8/7
 (3) PARITY = NONE パリティ : NONE/EVEN/ODD
 (4) STOP BITS = 1 ストップビット長 : 1/2
 (5) SEND COUNT = 01 エラーカウンター : 1～10
 (6) PROTOCOL = ENABLE プロトコルモード : ENABLE/DISABLE

エラーカウンター : ACK、NAK通信プロトコルモード時のエラーリトライ数。
 プロトコルモード : ENABLE でACK、NAK通信プロトコルモード処理

【キーコード出力】

《キーコード》

- ・ダブルキー処理。
- ・<SHIFT>キーは同時押しのみを有効とし、他のキーと同時押しされた場合には以下キーコードとする。
 キーコード + 30h

《ダブルキー処理》

- ・<X・R>、<Y・T>、<Z>、<A>、<STEP>、<WRITE>、<RUN>キーは<+>、<->キーと同時に押すことによってキーコードが出力される。
- ・それぞれ単体で押された場合にはそのキーコードが出力される。
- ・<X・R>、<Y・T>、<Z>、<A> + <+>、<->キーの同時押しはACK、NAKなしで連続出力される。
 (周期は、20msec)

	<+>	<->		
<X・R>	61h	71h		
<Y・T>	62h	72h		
<Z>	63h	73h		<SHIFT>キーでの+30hの処理なし
<A>	64h	74h		(3つのキーの同時押しの場合)
<STEP>	65h	75h		
<WRITE>	66h	76h	連続出力なし	
<RUN>	67h	77h		

ダブルキー対応表

【ACK、NAKプロトコル】

《データフォーマット》

キーコードにヘッダー、ターミネータコードを付加する。

STX	キーコード	CR	LF
ヘッダー		ターミネータ	

《送信処理》

キーコードにヘッダー、ターミネータコードを付加する。